

4 - 8 伊豆半島西部と東海地方の沈降について

Subsidence at West Coast of Izu Peninsula and the Tokai District

東京大学地震研究所

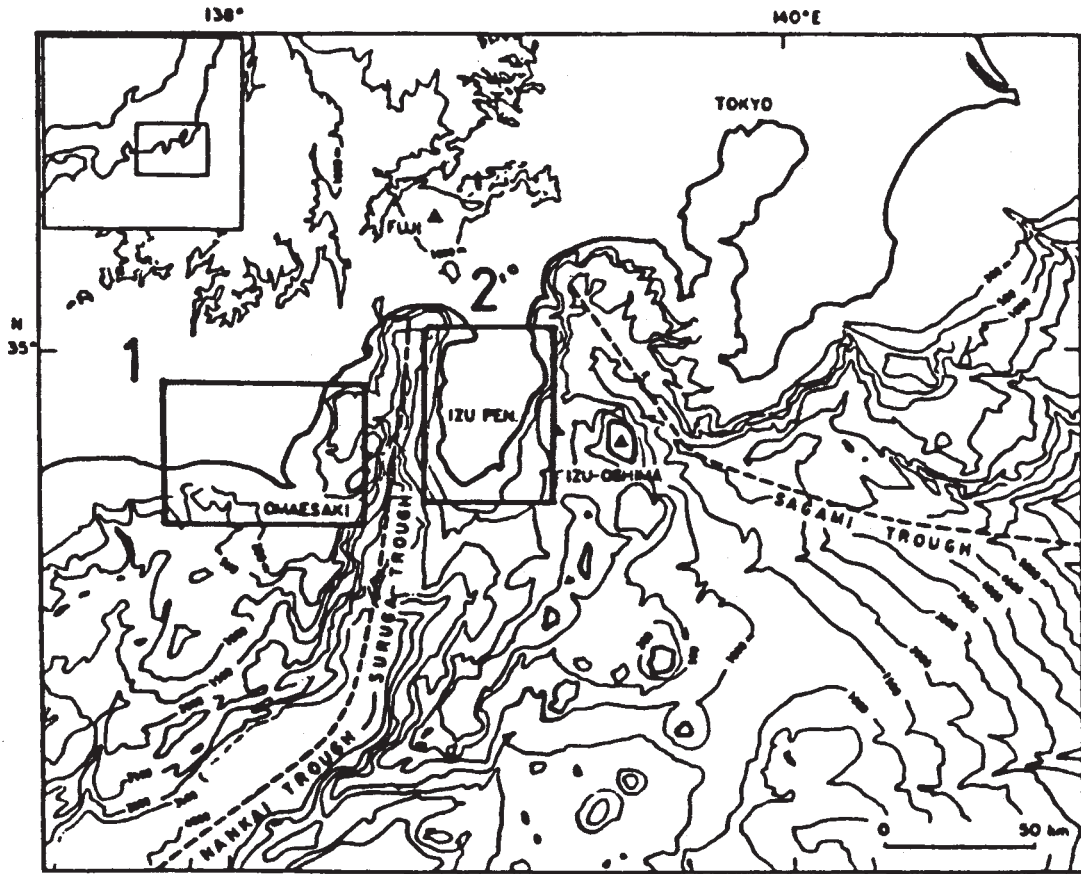
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

東海地方と伊豆半島西部は、駿河トラフをはさんで向かい合っている。第1図には東海地方と伊豆半島の位置が示されている。関数近似を適用して得られた伊豆半島と東海地方の上下変動の結果^{1), 2)}を用いて二つの地域の沈降を比較した。第2図は東海地方の海岸沿いの地点の上下変動の時空間変化であり、第3図は伊豆半島西部の地点の上下変動の時空間変化である。東海地方においては最大の沈降はNo.5の点に見られる。大体一様な割合で沈降が進行しているが例えば1976～1978や1984～1986の様に変化の割合の大きな時期もある。伊豆半島西部では測量は1980, 1982, 1984, 1986, 1988と二年毎に実施されているが補間により1年毎のプロットになっている。変化は一様ではあるが1986～1988の変化が大きい。最大沈降点の変化は東海地方では0.58cm/年で伊豆では0.44cm/年である。第4図は検潮から得られた上下変動³⁾とここに示された近傍の点の変動との比較である。二つの異なるデータであるが一致はよい。

(石井 紘)

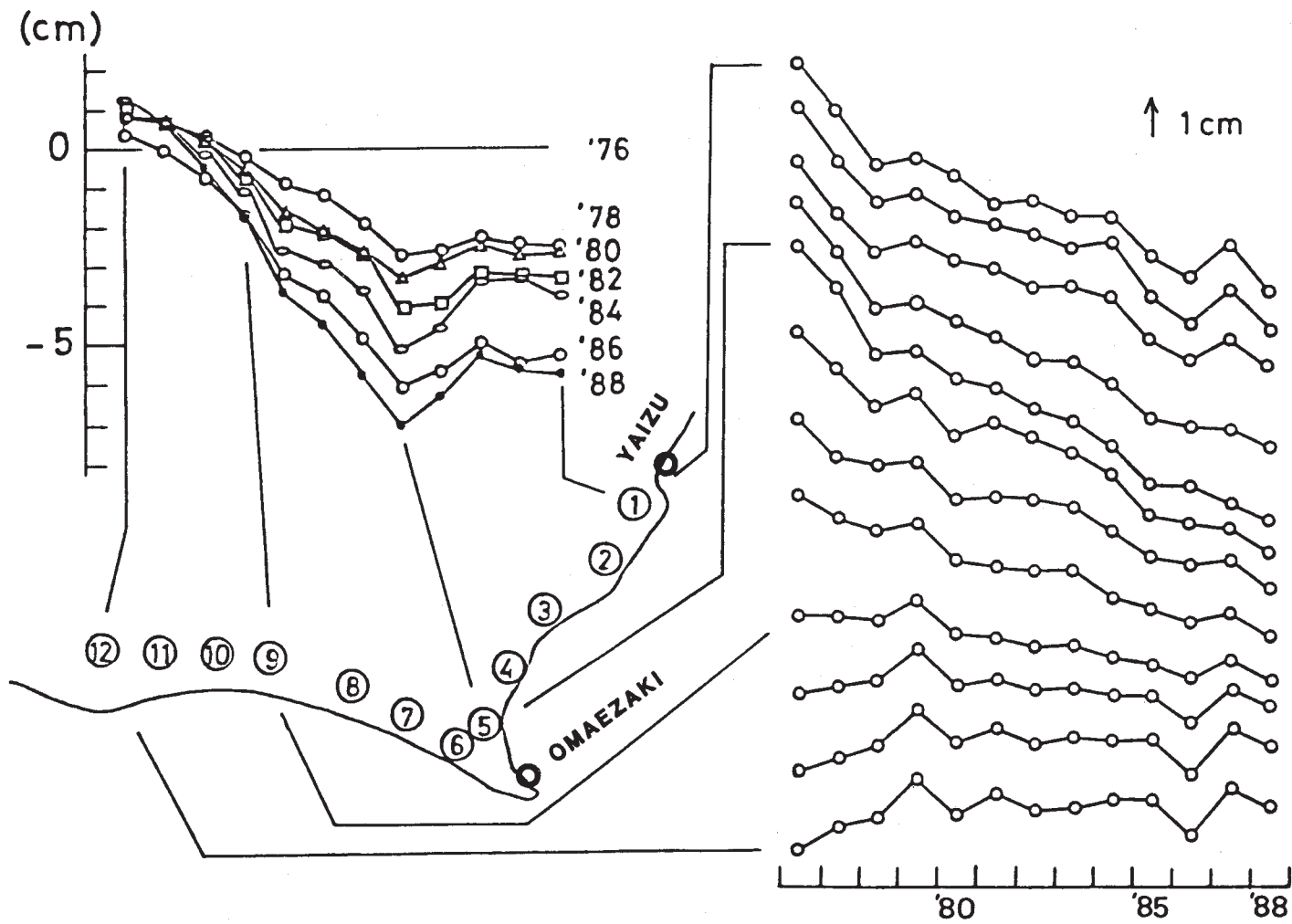
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所：御前崎の上下変動について，連絡会報，**41**（1989），373 - 376.
- 2) 東京大学地震研究所：伊豆半島の上下変動について，連絡会報，**42**（1989.），232 - 237.
- 3) 東京大学地震研究所：月平均潮位記録から推定された地殻の上下変動（1951年～1987年），連絡会報，**41**（1989），498 - 520.



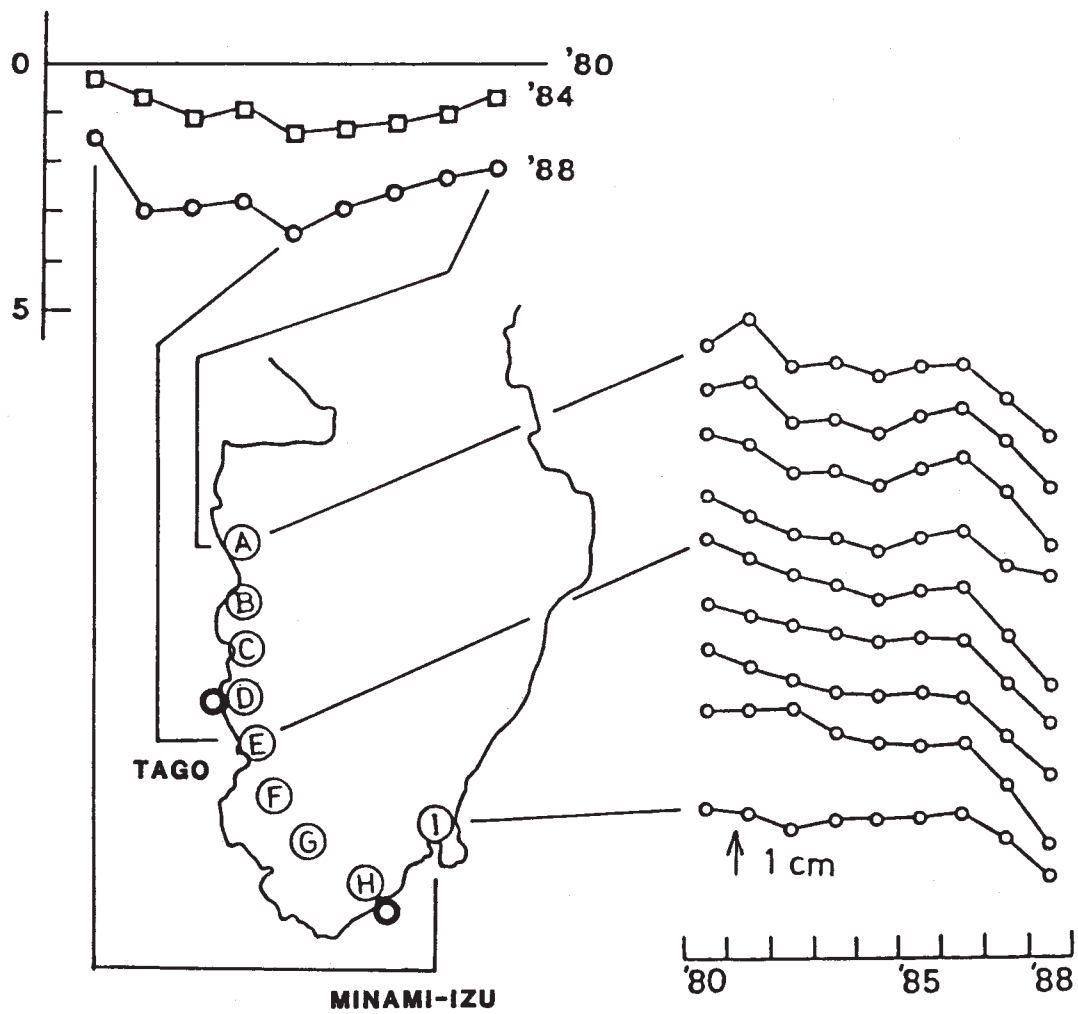
第1図 東海地方と伊豆半島の位置図

Fig. 1 Location of the Tokai district and the Izu peninsula.



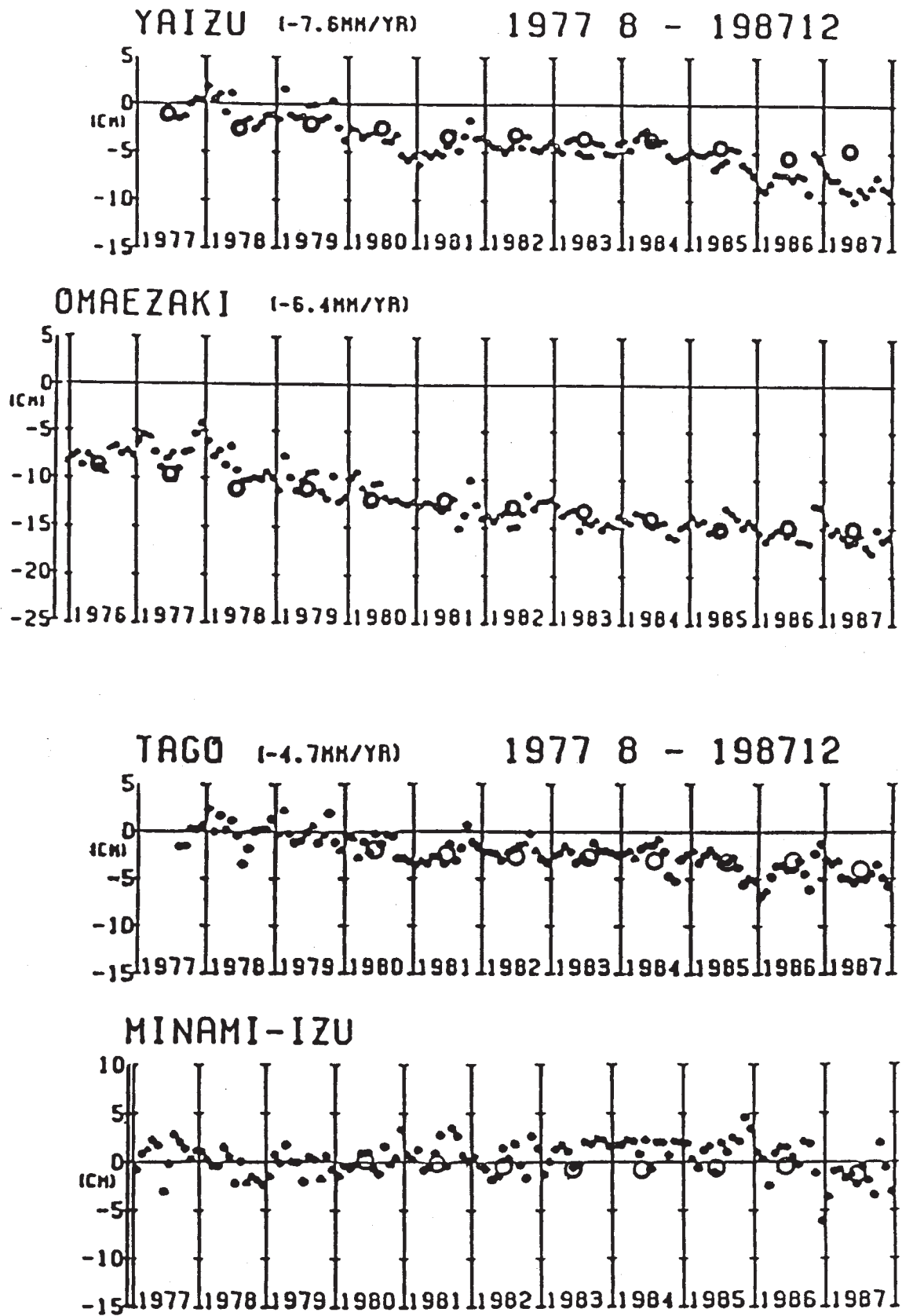
第2図 東海地方の上下変動の時空間変化と検潮所の位置

Fig. 2 Temporal and spatial variation of vertical movements in the coastal points of the Tokai district and location of tidal stations.



第 3 図 伊豆半島西部の上下変動の時空間変化と検潮所の位置

Fig. 3 Temporal and spatial variation of vertical movements in the coastal points of the west part of Izu peninsula and location of tidal stations.



第4図 検潮による上下変動（東京大学地震研究所，1989）と水準による検潮所近傍の上下変動（丸印）の比較

Fig. 4 Comparison between vertical movements obtained from tidal data (E.R.I., 1989) and those near the tidal stations obtained from leveling data (circle).